

（四国地方整備局からのメッセージ）

◆◆◆四国地方整備局トピック 2016.4.8◆◆◆

\*\*\*\*\*

桜花爛漫の候となりました、四国地方整備局長の石橋です。

3月末に新たな「四国圏広域地方計画」および「四国ブロックにおける社会資本整備重点計画」が決定されました。本日は、平成28年度予算の概要とあわせて紹介いたします。

## 1. 四国圏広域地方計画

四国圏広域地方計画は、平成27年8月14日に閣議決定された国土形成計画が目指す「対流促進型国土」の形成に向けて、四国ブロックにおける国土の利用、整備及び保全を推進するための総合的かつ基本的な計画として、四国圏域の将来像や地域戦略等について示すもので、平成28年3月29日に決定されました。計画のポイントについては以下のとおりです。

### （1）計画期間

今後概ね10年間

### （2）計画のポイント

国土の基本構想としての「対流促進型国土」の実現に向け、四国圏においても地域構造として「コンパクト+ネットワーク」の形成を進めていくため、太平洋と瀬戸内海に抱かれた地域の強みを活かし、『～圏域を越えた対流で世界へ発信～「癒やし」と「輝き」で未来へ』を今後概ね10年間、四国圏における国土形成の基本方針とする。そのため、四国の発展に向けた5つの目標とその実現に向け広域の見地から必要と認められる施策について5つの広域プロジェクトとして位置づけ、国、県、市町村等の公的主体と地域住民、民間事業者等の民間主体との協働によって重点的に進めていくことを明示しました。

### 【四国の発展に向けた5つの目標】

- ・南海トラフ地震への対応力の強化等、安全で安心して暮らせる四国
- ・若者が増え、女性・高齢者等が生き生きと活躍する四国
- ・地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国
- ・中山間地域・半島部・島しょ部等や都市間が補完しあい活力あふれる四国
- ・歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国

詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/kokudokeikaku/index.html>

## 2. 四国ブロックにおける社会資本整備重点計画

四国ブロックにおける社会資本整備重点計画は、平成27年9月18日に閣議決定された第4次社会資本整備重点計画に基づき、四国地方の特性に応じて社会資本を重点的、効率的、効果的に整備するため、四国圏広域地方計画と調和を図り、四国ブロックにおける社会資本整備の具体的な計画として、ストック効果の最大化にむけた取り組みなど、社会資本整備の重点項目等について示すもので、平成28年3月29日に決定されました。本計画のポイントについては以下のとおりです。

### （1）計画期間

平成32年度までの約5年間

## (2) 計画のポイント

厳しい財政制約が見込まれる中、「優先度と時間軸を考慮した選択と集中の徹底」を図り、機能性・生産性を高める観点から、社会資本のストック効果が最大限に発揮させる戦略的なマネジメントの考えのもと、集約・再編を含めた戦略的メンテナンス、既存施設の有効活用（賢く使う取組）に重点的に取り組むとともに、社会資本整備の目的・役割に応じて、「安全安心インフラ」、「生活インフラ」、「成長インフラ」について、選択と集中の徹底を図ることとしています。

そのため、4つの重点目標と11のプロジェクトを設定し、計画期間に実施する重点施策とその進捗を示す指標を明示しました。

## 【4つの重点目標】

- ・災害特性や地域の脆弱性に応じて災害等のリスクを低減する
- ・人口減少・高齢化等に対応した持続可能な地域社会を形成する
- ・民間投資を誘発し、経済成長を支える基盤を強化する
- ・社会資本の戦略的な維持管理・更新を行う

詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/jyuuten/index.html>

## 3. 平成28年度予算

## (1) 国土交通省関係の平成28年度予算は、

- ・東日本大震災からの復興加速
- ・国民の安全・安心の確保
- ・豊かで利便性の高い地域社会の実現
- ・日本経済の再生

の4分野に重点化し、施策の効果の早期実現を図ります。

四国の予算は全体額で	3, 135億円(対前年	1.05)
うち、直轄	1, 252億円(対前年	1.04)
補助・交付金	1, 883億円(対前年	1.05)

## 直轄事業別

治水事業	35, 983百万円	海岸事業	1, 914百万円
道路事業	72, 688百万円	港湾事業	8, 255百万円
空港事業	1, 674百万円	都市水環境整備	465百万円
国営公園等	763百万円	営繕事業	3, 497百万円

## 補助・交付金関係の県別

徳島県	31, 131百万円	香川県	29, 650百万円
愛媛県	67, 811百万円	高知県	59, 658百万円

となっています。

## (2) 新規事業

- [香川県] 香川32号交差点改良等(戸川視距改良)
- [愛媛県] 肱川直轄河川改修事業(小長浜地区)
- 市道大坪通町谷線 榎橋大規模更新
- [高知県] 四万十川直轄河川改修事業(初崎地区)
- 大渡ダム 堰堤改良事業
- 市道河原中ノ島線 中ノ島大橋大規模修繕
- 高知港海岸湾口・浦戸湾地区直轄海岸保全施設整備事業

## (3) 完了・供用予定

主な完了(供用)予定事業は、

- [徳島県] 吉野川直轄河川改修事業(脇町第一地区)
- 撫養港海岸桑島瀬戸地区直轄海岸保全施設整備事業
- [愛媛県] 一般国道33号 松山外環状道路インター線(古川IC~市坪IC)
- [高知県] 四万十川直轄河川改修事業(具同・入田地区)
- 町道仁淀吾川線 大渡ダム大橋修繕代行

予算の概要はホームページでもご覧になれます。

[http://www.skr.mlit.go.jp/infomation/yosanngaiyo28/index\\_28jikkei.html](http://www.skr.mlit.go.jp/infomation/yosanngaiyo28/index_28jikkei.html)

四国地方整備局長  
石橋 良啓

\*\*\*\*\*

■東日本大震災から5年  
～復興の記録展 開催中～

■企画部 企画課■

平成28年3月11日で東日本大震災から5年になることから、東北復興を振り返り、パネル・映像・津波漂流物で綴る復興の記録展を4月14日まで開催しています。3月11日からの「本開催」からは、プレ開催からのパネル展示に加え、復興に携わった職員に振り返ってもらい『東北復興支援経験者からのメッセージ』の上映と『津波漂流物展示』も行っています。

【概要】

- ・開催期間  
平成28年3月11日（金）～4月14日（木）  
（上記期間の9時～17時。土日祝日は閉館。入場無料）
- ・開催場所：サンポート合同庁舎低層棟1階アイプラザ
- ・展示内容：パネル展示、映像上映、津波漂流物展示

四国地方整備局は、平成27年度末段階において合計17名の職員（派遣中の職員含む。）を東北地方整備局へ出向させるなど様々な形で東北の復興を支援しています。東日本大震災を忘れないためにも、また、今後発生する南海トラフ地震に対する四国地方整備局の備えを知るためにも、一人でも多くの方にご覧になっていただきたいと思っております。

\*\*\*\*\*

■国営讃岐まんのう公園「春らんまんフェスタ」開催中

■香川河川国道事務所 公園課 ■

国営讃岐まんのう公園では、3月19日（土）から5月8日（日）まで『春らんまんフェスタ』を開催しています。

4月上旬は飛竜の花道で70品種20万株のスイセンや、お花見広場で多品種のサクラなどがお楽しみ頂けるほか、4月中旬頃からは花菖の道で33品種5万本のチューリップ、さめぎの森などで自生種の花木オンツツジが咲き誇ります。その後も青い絨毯のようなネモフィラ、シャーレーポピー、ルピナスなど、5月末頃まで園内各所で色とりどりのフラワーリレーが続きます。

期間中は週末を中心に、季節の花を使って作品を作るハーブ教室や、天然酵母を使ったパン教室など各種体験教室のほか、「パーク・ヨガ体験！」や「チャレンジ！5kmウォーキング」、「ウォーターバルーン」など盛りだくさんのイベントを開催します。

- ・5月15日（日）は、紙飛行機を作って飛ばすことができる「紙飛行機教室」
- ・4月30日（土）・5月1日（日）は、毎年恒例の『第6回四国B級ご当地グルメフェスタinまんのう公園』を開催します。

フェスタでは、四国4県のB級グルメがまんのう公園に集結するほか、宮崎県の肉巻おにぎりなど四国外からも応援出店があります。

皆様、ぜひ国営讃岐まんのう公園の『春らんまんフェスタ』にご来園ください。今年も、まんのう町の合併10周年記念事業も予定しています。

※1. 5月1日（日）、5月4日（水・祝）、5月5日（木・祝）は入園無料日です。  
（5月5日は中学生以下は入園料が無料です。また、各日とも駐車料金が別途必要です。）

※2. 季節の花情報や旬のイベント情報については、国営讃岐まんのう公園ホームページでご確認ください。（<http://www.mannoukouen.go.jp/>）

\*\*\*\*\*

■高知西バイパス（枝川IC～天神IC間）の開通について

■ 土佐国道事務所 ■

土佐国道事務所が整備を進めてきた「一般国道33号高知西バイパス（延長9.8km）」のうち、枝川IC～天神IC間（延長2.9km）が平成28年3月5日（土）15時に開通しました。

この「一般国道33号高知西バイパス」は、国道33号で発生している慢性的な交通渋滞の解消や、路面冠水地域を避けた常時通行可能な道路の確保を実現し、沿道環境の改善と利便性の向上を目的とする道路です。平成24年12月までに、高知市鴨部から枝川IC間の延長4.3kmと天神ICから鎌田IC間の延長1.1kmが既に開通しており、今回の開通により、高知自動車道伊野ICから鎌田ICまでスムーズに通行することが出来るようになります。

開通当日は、9時30分よりいの町枝川小学校において、高知県、いの町、土佐国道事務所の主催で開通式典を執り行いました。式典には地元選出国會議員、高知県知事をはじめ関係者など約190名の方々に出席いただきました。式典では、まず高知県知事、いの町長、石橋局長より主催者挨拶があり、石橋局長からは「本日の開通を迎えることができたのも、関係者の皆様からの多大なるご支援、ご協力の賜と心から感謝を申し上げます。」との挨拶をいただきました。続いて来賓の方々からの祝辞をいただき、祝電披露、事業経過報告、いの町長から地元対策協議会会長に対する感謝状贈呈が行われました。

引き続き枝川IC付近で行われた開通セレモニーでは、地域にお住まいの方々約1,000人の参加のもと、地元伊野中学校吹奏楽部による演奏を皮切りに、テープカット、くす玉開披を行いました。開通記念パレードでは、白バイ隊を先頭に、救急車、消防車、仁淀ブルーを代表する地域の観光資源を発信し、観光を誘致するラッピングバス、地産外商を進める高知県の農産物を全国に輸送するトラック、豪雨災害等に活躍する国土交通省の排水ポンプ車、照明車、衛星通信車、道路パトロールカーがパレードしました。また、国道33号期成同盟会主催の餅まきでは、約2万個の紅白餅をご用意頂き、盛大に行われました。

開通前の2月25日（木）に行われた地元小学生の見学会では、児童約120名が真新しい道路を見学し、2月28日（日）に行われたウォーキングイベント（いの町主催）では、約1,200人も参加があるなど、高知西バイパスに対する地域の期待は大きく、今後も土佐国道事務所職員一同、地域の期待に応えられるよう取り組んでいきます。

\*\*\*\*\*

■一般国道56号 伊予インター関連が全線開通

■ 松山河川国道事務所 ■

一般国道56号伊予インター関連（延長6.4km）は、愛媛県伊予市から伊予郡松前町間の慢性的な交通渋滞やそれに起因する交通事故を改善するとともに松山自動車道「伊予IC」とのアクセス強化、地域の活性化に寄与することを目的として計画されたものです。

平成28年3月15日（火）に伊予跨線橋（上り線側）が開通し、これをもって、平成4年度の事業化から24年の時を経て、完成4車線にて全線開通となりました。

全線開通後の平成28年3月20日（日）には、地元の伊予市、松前町主催で竣工式がウェルピア伊予にて執り行われました。式典には山本順三国土交通副大臣や川崎国道・防災課長をはじめ、地元選出の国會議員、愛媛県、伊予市、松前町及び工事関係者・地元関係者など約100名の方々にご参加いただきました。

主催者の武智伊予市長の挨拶のあと、山本順三国土交通副大臣より「本日は竣工式が盛大に開催されることに対し、当事業の事業者として大変感謝申し上げます。更なる沿道の開発を通じて、地域経済の活性化等のストック効果を発揮していくものと期待している。」との祝辞をいただきました。続いて、中村愛媛県知事（上甲副知事代読）、

山本公一衆議院議員、白石徹衆議院議員並びに横山博幸衆議院議員からも祝辞をいただきました。

その後、主催者、来賓者の代表がテープカットを行い、24年目の全線開通の悲願達成を参加者全員でお祝いしました。

竣工式終了後には、祝賀会も催され地元の伊豫之二名島扶桑太鼓の演奏が華やかな会をより一層盛り上げました。

松山河川国道事務所では、完成後の道路のストック効果などを注視しつつ、他の事業も引き続き推進していきます。

\*\*\*\*\*

## ■中筋川ダム “地域に開かれたダム”

### ■ 中筋川総合開発工事事務所 ■

中筋川総合開発工事事務所では、渡川水系中筋川の治水・利水のため、横瀬川ダムの建設と中筋川ダムの管理を行っています。

中筋川ダムは、地域に開かれたダムとして、蛍湖まつり、ダム見学会など様々な取組や情報発信を行っています。

蛍湖まつりは回数を重ね平成27年で第20回を迎え、今では地域住民から毎年の開催を心待ちにされる様な「蛍湖まつり」となり、流域の地域交流や連帯及びダム事業への理解を深める場として役立っています。

今回は、例年行っている地元で活躍する多彩な出演者が演じるパフォーマンス、小学生によるダム絵画展、各種協力機関による環境・防災ブースの出店に加え、ダム直下に「ダムカフェ」を新しく開設したことにより、全国的にも珍しい階段状になったダムの「洗浄放水」を間近で見ながらゆったりとした時間をすごしてもらいました。さらには、スケートボードの実演や体験コーナーを設ける等来場者の志向にも配慮した企画を取り入れた結果、約2,400人もの来場者を迎えることができました。

なかでも、大人から子供まで大人気のダム見学では、ダム堤体内にイルミネーションを装飾し幻想的な空間を演出したことにより、過去最多の810人を記録しました。

また、毎月第4土曜日を「中筋川ダムの日」として、ライトアップ・洗浄放水・噴水・ダム内部見学会(予約制)を行っており、多数の方が訪れてくれています。今後も「地域に開かれたダム」として、地域の活性化のための様々な取組と情報発信を行って行きます。

\*\*\*\*\*

## 四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

\*\*\*\*\*

「いきいき四国通信」に関するご意見等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp  
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》

\*\*\*\*\*「いきいき四国通信」事務局\*\*\*\*\*

「いきいき四国通信」の配信中止・配信先変更のご希望がありましたら、事務局までFAXまたはメールにてご連絡頂きますようお願いいたします。

国土交通省 四国地方整備局 企画部  
【担当】新名、篠崎

FAX(087)811-8408  
mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp

いきいき四国通信Vol.74（配信版）.txt  
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》